

第2学年 体育 学習指導案

令和5年7月12日（水）第5校時
大田区立松仙小学校 2年1組 32名

校内研究のテーマ

主体的に学び合う楽しい体育学習

1 単元名

器械・器具を使った運動遊び領域 「たからじまでたからをみつけよう」

2 単元の目標及び単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の目標	マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向への転がり、手で支えて体の保持や回転をして遊ぶことができるようにする。	マットを用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	マットを使った運動遊びに進んで取り組み、順番や決まりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。
単元の評価規準	① マットを使った運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。(知識) ② マットに背中や腹などを付けていろいろな方向に転がったり、手や背中で支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりするなどして遊ぶことができる。(技能)	① 簡単な遊び方を選んでいる。(思考・判断) ② 簡単な遊び方を工夫している。(思考・判断) ③ 工夫したり考えたりしたことを友達に伝えている。(表現)	① マットを使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。(主体) ② 順番や決まりを守り、だれとでも仲よくしようとしている。(公正・協力) ③ 器械・器具の準備や後片付けを、友達と一緒にしようとしている。(協力) ④ 場の安全に気を付けている。(健康・安全)

3 指導観

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年7月告示）体育〔第1学年及び第2学年〕のB「器械・器具を使つての運動遊び」の、

- (1) イ マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えて体の保持や回転をすること。
- (2) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

を受けて設定した。

本単元では、第1時で準備運動、主運動につながる運動遊びの行い方を知り、これまでに学習したマットを使ったいろいろな運動遊びの行い方を確認する。第2時では、マットを使った運動遊びの場の使い方を学び、設定した場でどのように遊ぶかを知る。第3時では、それぞれの場で設定した運動遊びの動きに取り組み、自分のめあてを考える。第5時～第6時では、それぞれの場の運動遊びの動きに自分でめあてをもって取り組み、工夫した動きやよい動きに気付いた動きをグループの中で伝え合ったり教え合ったりする。また、自分ができるようになった運動遊びを友達に伝える。

校内研究のテーマである「主体的に学びあう楽しい体育学習」に迫るため、高い目標を設定して「できない」と思うことより、同じ運動遊びの動きでも、スモールステップで目標を立てていくことにより、「できた」「もっとやってみたい」と感じる気持ちを大切に取り組ませていきたい。また、グループの中

で伝え合ったり教え合ったりすることにより、よい動きや工夫した動きを友達と共有する場を作っていけることを目指す。

(2) 児童の実態

2年1組の児童は、外遊びが好きな児童が多く、休み時間になると校庭や屋上で鬼遊びをして仲よく遊んだり、固定施設でも上り棒などで友達と一緒に練習したりする姿が見られる。また、体育の学習を楽しみにしている児童も多く、簡単な鬼ごっこやゲーム、固定施設などでもきまりを守って遊ぼうとする児童が多い。また、できるようになったことや工夫したことなど教師に見せにきたり、友達と一緒に練習したりする姿も見られ、「友達と一緒に活動して楽しい」「もっと練習してできるようになりたい」という意識のある児童が多い。ただし、運動に苦手意識のある児童もいて、自分のできることにだけ取り組もうとしたり、仲の良い特定の友達とはアドバイスしたり一緒に取り組んだりできても、それ以外の児童とは、関わりをもとうとしない児童もいる。今回の「マット運動遊び」では、動きのコツや工夫の仕方などを具体的に可視化するとともに、それぞれの運動能力に合わせてレベルを上げていけるようにスモールステップで児童が「できた」と感じられるようにし、お互いの動きにアドバイスや賞賛などの言葉掛けができるようにしたいと考える。

2年生 体育科研究授業 アンケート結果

① マットうんどうあそびは好きですか。

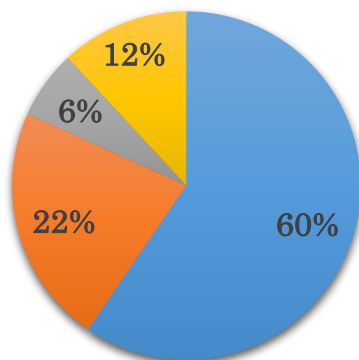
(126人 回答)

好き・・・75人

まあまあ好き・・・28人

あまり好きではない・・・8人

好きではない・・・15人



■好き ■まあまあ好き ■あまり好きではない ■好きではない

② ともだちといっしょにマットうんどうあそびをすることは好きですか。

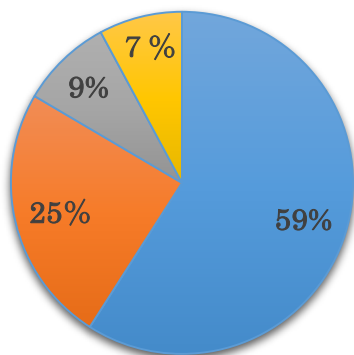
(126件 回答)

好き・・・75人

まあまあ好き・・・31人

あまり好きではない・・・11人

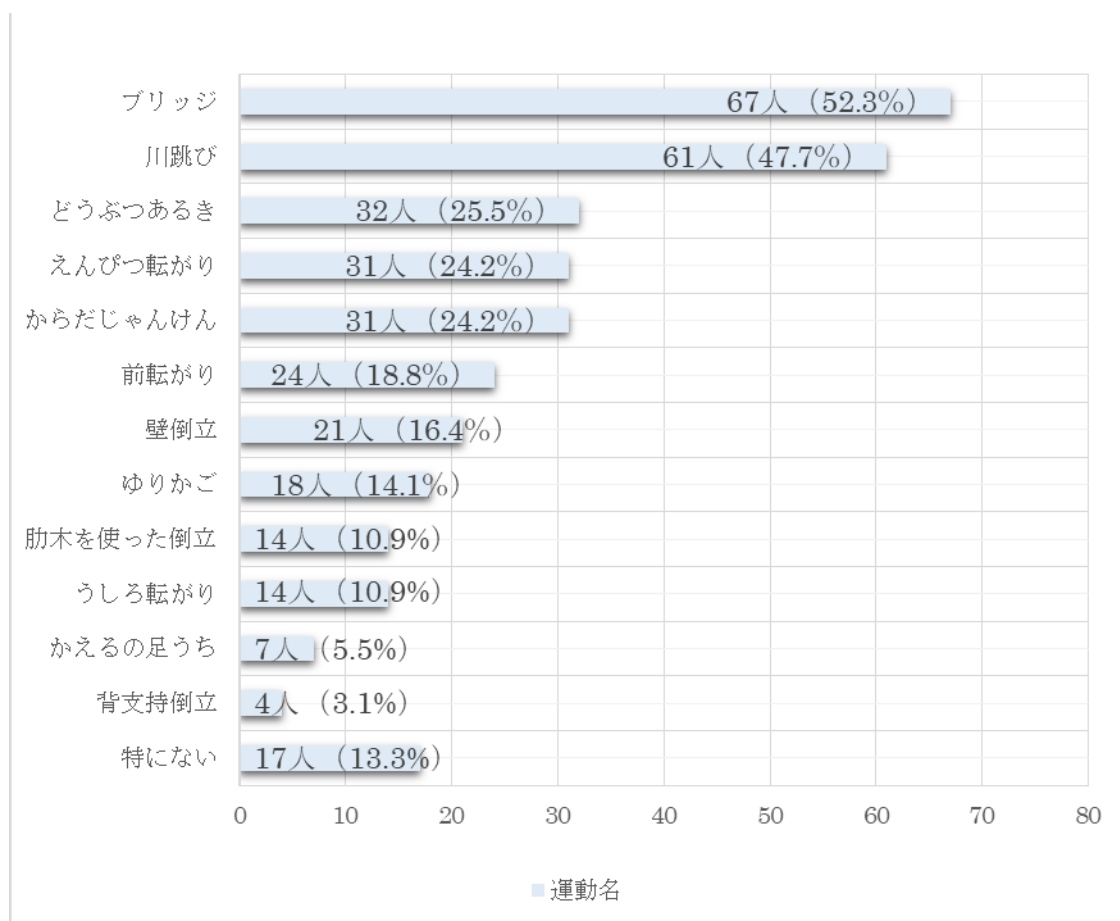
好きではない・・・9人



■好き ■まあまあ好き ■あまり好きでない ■好きではない

5月に取ったアンケートでは、103人(82%)の児童がマット運動遊びを好きと感じている。また、友達と一緒にマット運動遊びをすることが好きと答えたのは、106人(84%)となっている。マット運動遊びが好きな児童の中にも、友達と一緒に運動遊びすることが好きな児童が大半だが、一人でマット運動遊びをすることが好きな児童もいることが分かった。

③マットをつかってどんなうんどうがしたいですか。(3つまで)



「③マットを使ってどんな運動をしたいですか」のアンケートでは、ブリッジや川跳びなど、体を支持した運動遊びが多いのが顕著に表れていた。その他、鉛筆転がりや体じゃんけんなど、比較的簡単に誰でも取り組みそうな遊びが多かった。児童の中には、自分ができる技をたくさんやってみたいという気持ちがあることがうかがえる。その中でも、川跳びやブリッジは、日常的にできる運動ではない中で自分ができるという気持ちが多かったのではないだろうかと考える。川跳びでも、より腰を高く持ち上げ、手を曲げずにしっかり伸ばすなど、大きく体を動かすことができるようにレベルをアップさせていくことで、興味をもって自分のできる技を増やしていけるように取り組ませたい。

(3) 教材観

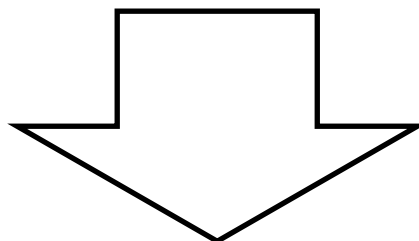
○運動の特性

(一般的特性)

- ・マットを使った運動遊びは、児童がマットを使って遊びながら、いろいろな動きに楽しく取り組んで、自分の力にふさわしい動きを身に付けたときに喜びを味わうことのできる運動遊びである。

(児童から見た特性)

- ・多様な動きに挑戦し、できる技を増やしていくことや非日常的な運動体験そのものが楽しい運動である。
- ・他の器械・器具を使つての運動遊びほど恐怖感や痛みを伴わないため、意欲的に取り組むことができる運動である。



○テーマに迫る手立て

主体的に取り組む ための工夫	テーマの設定 ・宝島で設定した遊び方に取り組むことができると、宝物をもらえるというゲーム性を設定することで、児童が活動に意欲的に取り組めるようにする。 掲示の工夫 ・動きのポイントを明確化するために、手本となるイラストやポイントを書き込んだ掲示物をホワイトボードに掲示する。 言葉掛け ・ねらいとする動きを共有するために、それができている児童を見付けて取り上げたり、全体に共有したりする。 場の工夫 ・児童が一人一人の課題にあった場で遊ぶことができるように、複数の場を設定することで、主体的に活動に取り組めるようにする。
学び合うための 工夫	掲示の工夫 ・素早い準備やスムーズなローテーションのために、場の全体図を掲示する。 ・動きのポイントやその場での遊び方を確認できるよう、場の近くに手本となるイラストなどをコーンに貼って掲示する。 ・様々な動きに挑戦したくなるように、オノマトペなどで動きをわかりやすくする。 場や時間の工夫 ・遊びながら楽しんで運動できるように、児童がイメージしやすい名前（「コロコロじま」「ぴょんぴょんじま」「さかさまじま」）を付けた様々な場を設ける。 ・さまざまな遊び方を楽しむ「みつけタイム」、自分ができるようになったことや友達のよさなどを伝える「つたえタイム」、遊びたい場を選んで遊ぶ「やってみタイム」を設け、それぞれの場での動きを楽しませる。 言葉掛け ・遊びながら楽しんで運動できるように、「おもしろいね」「すごい」「もう一回やって見せて」など楽しさを盛り上げられるような言葉掛けを意識する。 ・友達とかかわりながら運動できるように、グループやペアで互いに褒め合ったりアドバイスをしたりする姿を称賛する。 グループ構成 ・さまざまな遊び方を楽しむ「みつけタイム」では1グループを5～6人に設定する。自分ができるようになったことや友達のよさなどを伝える「つたえタイム」、遊びたい場を選んで遊ぶ「やってみタイム」では、児童が意見の伝え合いができた、自分の行きたい場に行けたりできるように、1グループを2～3人に設定する。 ・友達のよい動きを見付けたり伝え合ったりできるように、マット運動遊びに苦手意識がある児童を同じグループに複数属さないように人間関係を加味する。
できたを実感する ための工夫	活動の工夫 児童が自分に合った場を見付けることができるように、「みつけタイム」では、ローテーションの仕方をあらかじめ設定しておく。 振り返りシート ・本時の振り返りをし、できたことやがんばったことをワークシートに記入して次時への見通しをもたせる。

4 第2学年単元の指導と評価の計画（全6時間）

時間		1	2	3	4	5	6（本時）					
学習段階		知る	つかむ			深める						
ねらい		・マットを使った運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりできる。知 ・マットを使った運動遊びに進んで取り組むことができる。国	・簡単な遊び方を選ぶことができる。思 ・順番や決まりを守り、だれとでも仲よくすることができる。国	・簡単な遊び方を工夫することができる。思 ・器械・器具の準備や後片付けを、友達と一緒にすることができる。国	・工夫したり考えたりしたことを友達に伝えることができる。思 ・場の安全に気を付けることができる。国	・簡単な遊び方を工夫することができる。思 ・マットを使った運動遊びに進んで取り組むことができる。国	・マットに背中や腹などを付けていろいろな方向に転がったり、手や背中で支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりするなどして遊ぶことができる。知 ・工夫したり考えたりしたことを友達に伝えることができる。思					
学習活動		マットうんどうあそびのしかたを知ろう。 1 約束づくり ・マットの運び方 ・場の準備の仕方 ・マット運動遊びの約束 2 場の準備 3 準備運動 ・関節の柔軟性を高める 4 補助運動 5 感覚づくりの運動を組み合わせた場で遊ぶ 6 振り返り 7 整理運動 8 片付け	1 めあての確認 2 場・用具の準備 ころころじまでたからを見つけよう。 さかさまじまでたからを見つけよう。 びよんびよんじまでたからを見つけよう。 たからじまでたからを手に入れよう。 ちょうせんしたあそびを友だちにつたえよう。 3 準備運動・補助運動（ゆりかご・かえるの足うち・背支持倒立など） <table><tr><td style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;">4 いろいろな転がり方を知る ・前転がり ・丸太転がり ・後ろ転がり 5 ジグザグコーナー、坂道コーナーの2つの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場で好きな遊びをやってみる</td><td style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;">4 肋木や壁登り、背支持倒立のやり方を知る。 ・背支持倒立 ・ブリッジ ・壁支持倒立 5 肋木コーナー、背中倒立・ブリッジランドの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場で好きな遊びをやってみる</td><td style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;">4 腰を高く上げた川跳びのやり方を知る。 ・かえるの足うち ・川跳び 5 細マットコーナー、跳び箱マットコーナーの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場で好きな遊びをやってみる</td><td style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;">4 コロコロじま、さかさまじま、びよんびよんじまの場を作り、遊ぶ 5 よい動きを共有する 6 それぞれの場で好きな遊びをやってみる</td><td style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;">4 コロコロじま、さかさまじま、びよんびよんじまの場を作り、遊ぶ 5 よい動きを共有する 6 それぞれの場で好きな遊びをやってみる</td></tr></table> 8 整理運動 9 振り返り（クラス全体・個人） 10 片付け					4 いろいろな転がり方を知る ・前転がり ・丸太転がり ・後ろ転がり 5 ジグザグコーナー、坂道コーナーの2つの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場で好きな遊びをやってみる	4 肋木や壁登り、背支持倒立のやり方を知る。 ・背支持倒立 ・ブリッジ ・壁支持倒立 5 肋木コーナー、背中倒立・ブリッジランドの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場で好きな遊びをやってみる	4 腰を高く上げた川跳びのやり方を知る。 ・かえるの足うち ・川跳び 5 細マットコーナー、跳び箱マットコーナーの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場で好きな遊びをやってみる	4 コロコロじま、さかさまじま、びよんびよんじまの場を作り、遊ぶ 5 よい動きを共有する 6 それぞれの場で好きな遊びをやってみる	4 コロコロじま、さかさまじま、びよんびよんじまの場を作り、遊ぶ 5 よい動きを共有する 6 それぞれの場で好きな遊びをやってみる
4 いろいろな転がり方を知る ・前転がり ・丸太転がり ・後ろ転がり 5 ジグザグコーナー、坂道コーナーの2つの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場で好きな遊びをやってみる	4 肋木や壁登り、背支持倒立のやり方を知る。 ・背支持倒立 ・ブリッジ ・壁支持倒立 5 肋木コーナー、背中倒立・ブリッジランドの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場で好きな遊びをやってみる	4 腰を高く上げた川跳びのやり方を知る。 ・かえるの足うち ・川跳び 5 細マットコーナー、跳び箱マットコーナーの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場で好きな遊びをやってみる	4 コロコロじま、さかさまじま、びよんびよんじまの場を作り、遊ぶ 5 よい動きを共有する 6 それぞれの場で好きな遊びをやってみる	4 コロコロじま、さかさまじま、びよんびよんじまの場を作り、遊ぶ 5 よい動きを共有する 6 それぞれの場で好きな遊びをやってみる								
評価の重点	知	① 学習カード					② 運動の様子					
	思		① 学習カード	② 学習カード	③ 学習カード	② 学習カード	③ 運動の様子 学習カード					
	態	① 運動の様子	② 運動の様子	③ 運動の様子	④ 運動の様子 学習カード	① 運動の様子						

※太枠は「記録に残す評価」、その他は「指導に生かす評価」とする。

4 第1学年単元の指導と評価の計画（全6時間）

時間	1	2	3	4	5	6（本時）
学習段階	知る	つかむ			深める	
ねらい	・マットを使った運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりできる。知 ・マットを使った運動遊びに進んで取り組むことができる。国	・簡単な遊び方を選ぶことができる。国 ・順番や決まりを守り、だれとでも仲よくすることができる。国	・簡単な遊び方を工夫することができる。国 ・器械・器具の準備や後片付けを、友達と一緒にすることができる。国	・工夫したり考えたりしたことを友達に伝えることができる。国 ・場の安全に気を付けることができる。国	・簡単な遊び方を工夫することができる。国 ・マットを使った運動遊びに進んで取り組むことができる。国	・マットに背中や腹などを付けていろいろな方向に転がったり、手や背中で支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりするなどして遊ぶことができる。知 ・工夫したり考えたりしたことを友達に伝えることができる。国
学習活動	マットうんどうあそびのしかたを知ろう。 1 約束づくり ・マットの運び方 ・場の準備の仕方 ・マット運動遊びの約束 2 場の準備 3 準備運動 ・関節の柔軟性を高める 4 補助運動 5 感覚づくりの運動を組み合わせた場で遊ぶ 6 振り返り 7 整理運動 8 片付け	1 めあての確認 2 場・用具の準備 ころころじ までたから を見つけよう。 さかさまじ までたから を見つけよう。 ぴよんぴよ んじまでた からを見つけよう。 たからじま でたからを 手に入れよう。 ちょうせん したあそび を友だちにつたえよう。 3 準備運動・補助運動（ゆりかご・かえるの足うち・背支持倒立など） 4 いろいろな転がり方を知る。 ・前転がり ・丸太転がり ・ゆりかご 5 ジグザグコーナー坂道コーナーの2つの場で遊ぶ。 4 肋木や壁登り、背支持倒立のやり方を知る。 ・背支持倒立 ・ブリッジ 5 壁・肋木コーナー、背中倒立・ブリッジランドの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する 7 それぞれの場をローテーションで遊ぶ 4 腰を高く上げた川跳びのやり方を知る。 ・かえるの足うち ・川跳び 5 細マットコーナー、跳び箱マットコーナーの場で遊ぶ 6 よい動きを共有する。 7 それぞれの場をローテーションで遊ぶ。 4 コロコロじま、さかさまじま、ぴよんぴよんじまの場を作り、遊ぶ 5 よい動きを共有する 6 ローテーションで遊ぶ 4 コロコロじま、さかさまじま、ぴよんぴよんじまの場を作り、遊ぶ 5 よい動きを共有する 6 ローテーションで遊ぶ 8 整理運動 9 振り返り（クラス全体・個人） 10 片付け				
評価の重点	知	① 運動の様子 学習カード				② 運動の様子
	思		① 運動の様子 学習カード	② 運動の様子 学習カード	③ 運動の様子 学習カード	② 運動の様子 学習カード
	態	① 運動の様子	② 運動の様子	③ 運動の様子	④ 運動の様子	① 運動の様子

※太枠は「記録に残す評価」、その他は「指導に生かす評価」とする。

5 本時の活動計画（6/6）

（1）本時の目標

- ・マットに背中や腹などを付けていろいろな方向に転がったり、手や背中で支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりするなどして遊ぶことができる。【知識及び技能】

◎工夫したり考えたりしたことを友達に伝えている。【思考・判断・表現】

- ・マットを使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

（2）本時の展開

○児童の主な学習活動 ・予想される児童の思いや考え	*教師の指導・支援 ☆評価規準（評価方法）【観点】
○めあて、学習の流れの確認 め ちょうせんしたあそびを友だちにつたえよう。 ○場・用具の準備 ・マットをはじめの位置に置き、主運動に使う道具を端に置く。 ○準備運動・補助運動 ・主運動につながる動きを取り入れる。 ・かえるの足うち、ゆりかご、背支持倒立、ブリッジ ○場、用具の準備2	*前時までに活動してきたそれぞれの運動遊びの動きで見つけたことを振り返る。 *安全に気を付けて、協力して取り組んでいる児童を称賛する。 *手の付き方や足の上げ方など、大きな動きができるように声を掛ける。
○主運動① 【みつけタイム】 ・コロコロじま、ぴよんぴよんじま、さかさまじまの3つをローテーションで回っていく。 ・それぞれ、2か所ずつの練習場を2分ずつ練習に取り組む 【つたえタイム】 ・工夫した遊び方や、動きのコツ、自分ができるようになったことを同じグループの児童に伝える。 ・友達の動きで、よいと思ったことや見つけたことを全体で共有する。 ○主運動② 【やってみタイム】 ・ペアの児童と、それぞれの遊び場を選び、共有して気付いた遊びややってみたい遊びをする。	*それぞれの場の動きを確認する。 *【みつけタイム】では、それぞれのしまにある2つの場をグループですべて回り、それぞれの場のレベルを自分で選ぶ。グループの友達がどの動きができていたかを伝える。 *【つたえタイム】では、自分ができた動きや工夫したことをグループで伝え合い、やってみタイムで、どの場で遊びたいかを選ぶ。 *【やってみタイム】では、グループをさらに2～3人に分かれ、自分たちで遊びたい場をそれぞれ選んで遊ぶ。 ☆工夫したり考えたりしたことを友達に伝えることができる。（思・判・表③） 【運動の様子・学習カード】
○整理運動 ○まとめ・振り返り ・今回楽しかった遊びや、できるようになったことを学習カードに書き、伝え合う。 ○片付け	*使った部位を意識してほぐすように声をかける。 *全体で振り返り、その後個人のワークシートにまとめる。 *協力して素早く片付けられるように声を掛ける。